

水稻の出穂予想と適正追肥の実施について（臨時情報）

宮城県米づくり推進本部
平成 29 年 7 月 21 日

葉色が淡く、追肥を行っていないほ場では、追肥を実施しましょう！

- 7 月 20 日現在，県内平坦部のほとんどの水田では減数分裂期に達しており，出穂期（県全体の平均）は平年より 2 日早い 8 月 3 日頃（平年は 8 月 5 日）になる見込みです。
- 葉色値は 33.8 ポイントで，前回調査（7 月 10 日）より急激に低下しており，望ましい葉色値を下回っているほ場が多くなっています。
- 減数分裂期における追肥は，品質向上のために重要ですので，葉色が淡い水田では出穂 7～10 日前までに積極的に追肥を実施しましょう。

1 追肥の目安

穂揃期の葉色を 33～35 ポイント（ひとめぼれ）で推移させるため，表 1 を参考に追肥しましょう。

表 1 減数分裂期の葉色の目安

品種名	減数分裂期(出穂15日前)		(時期目安)出穂7～10日前まで
	カラスケール	葉緑素計値	施肥量(窒素成分量)
ひとめぼれ	3.9～4.2	35～37	1.0kg/10a
ササニシキ	3.4～3.7	32～34	1.0～1.5kg/10a

※1)この表の数値以下で追肥可能だが，倒伏診断指標を必ず併用して要否判断すること

2)葉緑素計値は「SPAD502」で測定した値

2 生育概況（7月20日現在）

生育調査ほにおける「ひとめぼれ」の生育状況は，草丈 71.2 cm（平年比 102%），莖数 509 本/m²（平年比 103%），葉数 12.1 枚（平年差+0.3 枚），葉緑素計（GM）値 34.2（平年差-0.5 ポイント），幼穂長 65.7mm（平年差+17.9 mm）となっています。

※平年値：前5か年(平成24～28年)の平均値

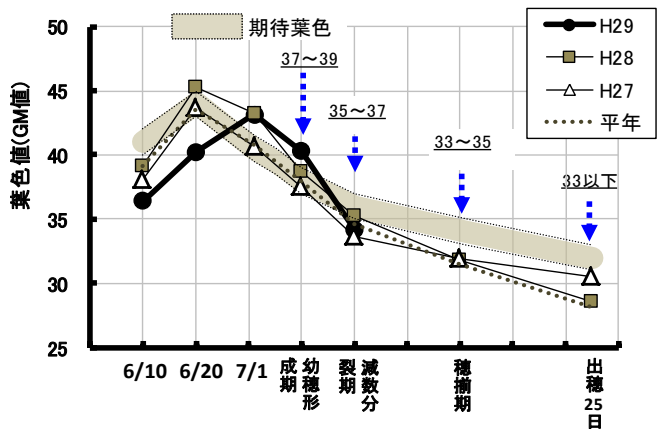


図 1 水稻葉色の推移（ひとめぼれ生育調査ほ）

3 出穂予想

表 2 地帯区分別生育ステージの予測（7月20日現在）

<県平均>出穂期予測：8月3日（平年値：8/5）												
地帯区分	田植時期		幼穂形成始期			減数分裂期			出穂期			
	始期	～ 終期	始期	～ 終期	始期	～ 終期	始期	～ 終期	始期	～ 穂揃期		
北部平坦	5/2	～ 5/19	7/4	～ 7/13	7/14	～ 7/23	7/28	～ 8/8				
南部平坦	5/3	～ 5/19	7/2	～ 7/12	7/12	～ 7/22	7/24	～ 8/4				
仙台湾岸	5/3	～ 5/23	7/4	～ 7/17	7/14	～ 7/27	7/27	～ 8/11				
西部丘陵	5/7	～ 5/26	7/5	～ 7/18	7/15	～ 7/28	7/30	～ 8/13				
山間高冷	5/7	～ 5/27	7/15	～ 7/22	7/25	～ 8/1	8/13	～ 8/20				
三陸沿岸	5/7	～ 5/25	7/11	～ 7/20	7/21	～ 7/30	8/7	～ 8/17				

※1)7月19日までアメダスデータ実測値使用，7月20日以降はアメダス平年値を使用

2)対象品種「ひとめぼれ」「ササニシキ」「やまのしずく（山間高冷）」

3)各生育ステージの幅は，各地帯区分別の田植始期～田植終期で予測